

第13号

MITAKA COLLABORATION CENTER

三鷹市市民協働センター

NewsLetter

ニュースレター

平成17年

10月

We will hold the Round-table conference for Registered organizations.

★ご参加ください★

利用者こんだん会

新しくオープンする
「水回り付きオープンスペース」(無料)を
お使いになりますか？

主催:三鷹市市民協働センター企画運営委員会

第1回

10月14日(金)

午後7時～午後9時

第2回

10月15日(土)

午前10時～
午後12時

※懇談会は同じ内容を2回行いますので、どちらか一日をお選びください。

目次

利用者懇談会を開催します	1
『みたか市民交流会』	2
アイデアワークショップを行いました	3
『生ごみを土に返して活かす会』	3
協働センターからのお知らせ	4
10月イベント情報	4

オープンスペースの使い方を
皆さんで考える懇談会です。





みたか市民交流会



9月4日(日)、みたか市民交流会主催『みたかを食べる・みたかで食べるーフードコミュニティいろいろー』が開催されました。

毎年、新年と秋の2回実施している『市民交流会』。今回は“食”をテーマに、3団体のパネリストのお話を中心に交流しました。

風のすみかの手作り天然酵母のパンや、珍しい乾燥りんごのチップなどが紹介され、和やかな会になりました。

◆市民から市民に呼びかける◆

8年前、「市内市民活動団体がお互いのことをもっと知り合う機会が必要だね」のひとことがきっかけとなって「みたか市民交流会」がスタートしました。市民が市民に呼びかけるという取り組みは非常に珍しいことでした。



- ①「コミュニティベーカー 風のすみか」の浅野さん。
- ②「NPOローカル・ジャンクション21」の朝田さん。
- ③「食茶房むうぶ」の宮川さん。

38人、15団体の方が参加されました。

◆これまでと、これから◆

1997年から始まった市民交流会は、年に新年と秋の2回開催し、今回で18回目になりました。これまで延べ70団体が参加し、この会がきっかけで生まれた団体もあります。「今回20年ぶりの知り合いと出会った。再会が嬉しい。」「普段はあえない人に年に2回は会えるので、それが嬉しい。」という声も聞かれました。

◆市民活動こそ、

知り合うことが大切◆

障がい者支援活動の方の言葉が印象的でした。「交流会を通して、周囲の人に障がい者の事を知ってもらうことが大切だとわ

かった。」 障害者に対する理解が活動の力になることを実感されたのでした。市民交流会によって、理解の輪が広がっています。



真剣に耳を傾ける参加者。

みたか市民交流会 事務局 TEL:0422-46-0535

E-mai:n-itou@tea.ocn.ne.jp(伊東方)

We set up the idea workshop for collaboration center project in next year.



アイデアワークショップを行いました。

9月1日・2日・3日の3日間、アイデアワークショップを行いました。協働センターでどのような講座やイベント、取り組みをしたいか、ワークショップ形式でアイデアを出し合いました。約50人が集まり、160件の

アイデアが出ました。

これらのアイデアは協働センター企画運営委員会で検討し、最終的に決定したアイデアは協働センター18年度事業になります。



模造紙にアイデアをまとめています。



気に入ったアイデアに投票シールを貼っているところ。

Collaboration project: Environmental civil group planted the flowers in collaboration center.



『生ごみを土に返して活かす会』

☆花を植えていただきました☆



「生ごみを土に返して活かす会」は家庭で出る生ごみで堆肥を作り、野菜を育てている団体です。三鷹市の生ごみを燃やさずに自然の循環に戻し、ゆくゆくは生ごみ回収の導入を実現したいと活動しています。(生ごみを分別すると燃やせるごみが30%も減少します。)

「生ごみ堆肥は煙草の吸殻やラップ類が混ざらないかと、信頼性に疑問を持たれがちですが、花壇にも使えるということを知ってもらいたい。家庭用のプランターでも使えるんですよ。」とのこと。自分の家庭で出た生ごみを堆肥化して自分の家で使う、こんな家庭が増えるといいですね。



ベゴニアとポーチュラカを植えていただきました。(協働センター入り口にて。8月23日)

We will provide the new services from Oct. 1st.

10月1日開始

協働センターからのお知らせ

助っ人募集中!

★皆さんの“得意”を市民活動に生かしてください★

「手品が出来るんだけど、イベントなどで呼んでくれないかなあ」、「英語が得意なんだけど、何かの役に立てないかなあ」など、皆さんの“得意”を市民活動や協働センター事業に生かしていただけませんか？資格の有無を問いません。

協力いただく方には事前に一度協働センターまでお越しいただき、登録していただきます。協働センター事業で助けてほしいときや市民活動団体から「助っ人」の依頼があると、無償のボランティアとして活躍していただく事になります。

印刷機使用の方に紙をお売します

遠くから印刷に来る方にとって、紙を持ってくることは一苦勞でした。そこで、印刷機をご使用のお客様に限り、紙をひとパック(500枚)単位でお売します。

※A4=300円、A3=650円、B4=500円、B5=250円(いずれも再生紙)

※“印刷機の使用料”という形で料金をいただきます。



October.

10月

参加者募集中



★協働センター利用者懇談会

14日(金) 午後7時～9時

15日(土) 午前10時～12時

テーマ「新しくオープンする『水回り付きオープンスペース』をお使いになりますか？」

主催：企画運営委員会

お問い合わせ：協働センター

★リサイクル実験教室「VHSテープを分解してみよう」

「VHSテープをゴミに出していませんか？分解して部品にわければ立派な資源」

29日(土) 午後2時～4時

主催：

NPO法人福祉就労支援ネットアイランド

資料代：500円

★高齢期の心身を健やかに保つために「西條節子講演会」

30日(日) 午後1時30分～3時30分

参加費：500円

主催：HumanLoop(ヒューマンループ)・人の輪

後援：三鷹市

問い合わせ：

HumanLoop(ヒューマンループ)・人の輪

FAX(0422)313003

FAX(0422)313003

The letter case service for registered organizations.

ご存知ですか？

★FAX受信ができます

★郵便物の受け取りができます

レターケースをお持ちの登録団体は、協働センターで以下のサービスが受けられます。

FAX用紙や郵便物は登録団体のレターケースで受け渡しになります。入りきらないような小包、受け取りに立会いが必要な現金書留などはご遠慮ください。



Editor's note.

編集後記：9月9日～30日の間、「橋本暁史(アキヒト)絵画展」を1階の交流スペースで開催しました。橋本さんの作風は優しい色使いが特徴で、「見つめている猫」というタイトルの猫の絵は、体温の暖かさが伝わるような優しい作品でした。今後もこのような協働企画ができたらと思います。

発行日：平成17年10月1日

発行：三鷹市市民協働センター

(三鷹市生活環境部コミュニティ文化室)

〒181-0013 東京都三鷹市下連雀4-17-23

電話)0422-46-0048 FAX)0422-46-0148

Eメール：kyoudou@collabo-mitaka.jp

ホームページ：http://www.collabo-mitaka.jp